

1 単元名 「見つけよう 伝えよう 永田のいいところ」

2 単元の目標

- 自分たちが住んでいる地域に残る自然や文化など、これまで地域の方が大切に守ってきたものについて調べ、調べたことを整理してまとめることができる。(知識及び技能)
- 自分たちが住んでいる地域の自然や文化などについて調べたことをもとに、これからのわがまちについて考え、発信することができる。(思考力・判断力・表現力等)
- 自分たちが住んでいる地域には素晴らしい自然や文化が残っていることに誇りをもつとともに、昔から大切にされてきたものをこれからの未来につなぐために、意欲的に地域の人々と関わったり、学んだことを地域の人などに伝えたりすることができる。(学びに向かう力・人間性)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、永田で受け継がれてきた自然や文化を教材に取り上げる。

体験活動を通して、永田の自然や文化に興味をもち、活動への意欲を高めることができる。また、自分たちが住んでいる地域の昔の様子を調べる活動を通して、地域の実態を把握したり、これからの活動に具体性をもたせたりすることが期待できる。さらに、地域の方にインタビューをするなどの交流を通して、人とつながる楽しさや、関係を深めるコミュニケーションスキルの向上を図ることができる。

また、この活動を通して、永田には世界に誇れる自然や文化があることや、これらを守っていくために活動している人たちの思いを知り、自分たちが住んでいる地域に誇りをもつことができるようになるよさがある。

(2) 児童観

本学級の児童は、これまでに社会科の校区探検を通して、校区の土地の様子について学び、永田の土地の様子についても学んできている。その中で、自分たちが住む地域には自然がたくさんあるということに気付いている。また、毎年の恒例行事である「いかだレース」や「塩づくり体験」を通して、自分たちの住む地域の魅力も感じている。

身の周りの実態から課題を見つけ、身近な人にインタビューをして調べたり、調べたことについて友達と話し合っ整理したりすることができるようになったこの時期に本課題を取り上げる意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、「ウミガメの学習」「いかだレース」「塩づくり」を体験し、永田の自然や文化に興味をもち、自分たちが住む地域について調べる意欲をもたせる。また、「永田川の生き物調べ」で、ゲストティーチャーに、専門的な説明をしてもらうことで、川と海の生き物同士は互いに関わり合いながら生きていることに着目させ、人間も自然の循環の中で、様々な恵みを受け取っていることに気付かせたい。

次に、かめんこ留学生に本校を選んだ理由をインタビューしたり、他の地域に住む小学生と自分の住む地域のよさを交流したりして、永田の魅力について多面的、多角的に考えさせる。この活動で、自分の住む地域のよさについて、実感させたい。

そして、地域の昔について調べる中で、時代とともに変わったことや変わらずに残っていることがあることに気付かせる。その中で、地域の方の願いや思いにも気付かせ、自分たちは、今後どうするかを考えられるようにする。また、地域の方との交流を通して、自分も地域の一員であることを自覚させ、地域に愛着をもつことができるようにさせる。また、調べる活動で得た学びについて、みんなで、検討させ、新たな疑問については、さらに調べ、主体的に学ぶ活動にさせたい。

さらに、これらの活動を通して、地域の方の願いや思いを理解した上で、自分たちができるとはなんだろうかと考えさせる。そして、それを地域に発信していくことの大切さ理解させ、どのような方法がより伝わるかを考え、発信するための方法を見付けさせる。伝える活動を通して地域のよさを再度実感させ、今後の活動につなげていくようにする。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

- 多様性・・・自分たちが住んでいる地域にはこれからも大切にしていきたいものやよさがあるということ。
- 相互性・・・川と海はつながっており、生き物同士も互いに関わり合いながら生きている。人間もまた、その自然の循環の中で、様々な恵みを受け取っていること。
- 連続性・・・自分たちが住んでいる地域に昔からあるものは、地域の人の努力や工夫によって守られてきており、それを守っていく必要があること。

・本学習で変容を促すESDの資質・能力

- つながりを尊重する態度
自分たちが住んでいる地域の人たちが、川の水や海の生き物のつながりを大切にし、守ってきたことに気づき、地域の人たちの思いを尊重し、大切にしようとする。
- 未来像を予測して計画を立てる力
昔と今の永田の様子を比べ、自分たちが思い描く未来のわがまちの姿になるように、自分たちができることを友達と共に計画する。

・本学習で変容を促すESDの価値観

○世代間の公正

今まで自然や文化などの伝統を守ってきた人たちに感謝し、自分たちが未来へつないでいくことが大切である。

○幸福感に敏感になる、幸福感を重視する

自分の町に美しい自然や伝統的な行事が残っている素晴らしさを実感する。

・達成が期待させるSDGs

1 1 住み続けられるまちづくりを

1 4 海の豊かさを守ろう

1 5 陸の豊かさを守ろう

4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
①自分たちが住んでいる地域に残る自然や文化など、これまで地域の方が大切に守ってきたものについて調べることができる。	①自分たちが住んでいる地域の自然や文化などについて調べたこととに、これからのわがまちについて考え、地域の人などに発信する方法を考えることができる。	①自分たちが住んでいる地域には素晴らしい自然や文化が残っていることに誇りをもち、昔から大切にされてきたものをこれからの未来につなぐために、行動することができる。
②学んだり、調べたりして得た知識を自分なりの方法で整理し、発信することができる。	②調べて分かったことを整理し、伝わりやすい方法で表現することができる。	②知ったことや学んだことを意欲的に地域の人などに伝えようとするすることができる。

5 単元の指導計画（全25時間）

次	主な学習活動	学習への支援	評価・備考
1	○永田の自然や文化を体験する学習を振り返り、永田のことについてもっと知りたいという意欲をもつ。 ・地域の人たちは、ウミガメの来る浜を守るための活動をしているのだね。 ・いかだレースをした川の水は透明だったよ。 ・海の水を使って、塩を作っているのだね。 ・海と川に住む生き物同士、互いに関わり合っているのだね。	・永田で受け継がれている自然や文化を体験し、地域の良さに気付かせる。 ・海や川の生物に詳しい方をゲストティーチャーに招き、専門的な説明をしてもらうことで、川と海の生き物同士は互いに関わり合いながら生きていることに着目できるようにする。 ・体験学習を振り返ることで、人間も自然の循環の中で、様々な恵みを受け取っていることに気付かせる。	(ア) ② (ウ) ②

2	<p>○永田の魅力について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然がたくさん残っている。 ・ウミガメが卵を産みに来る。 ・海や川の水がきれいだ。 ・みんなが仲良しだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かめんこ留学生や他の地域に住む小学生と交流し、自分の住む地域の魅力について多面的、多角的に考えることができるようにさせる。 	<p>(ア) ② (イ) ②</p>
3	<p>○昔と今の永田を比べて、永田の課題を見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人が少なくなったのは、なぜだろう。 ・今よりも自然がたくさんあったなんて、びっくりした。 ・田や畑が減って、荒地になっているのがさみしいな。 ・今でも、永田でとびうおがとれるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の昔について調べる中で、地域の方の願いや思いを知り、今後の活動をどうするかを考えられるようにする。 ・地域の方にインタビューをするなどの交流の活動を通して、自分も地域の一員であることを自覚させ、地域に愛着をもつができるようにする。 	<p>(ア) ① (ア) ②</p>
4	<p>○自慢できる永田が、これからも続くように、自分たちができることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永田の素晴らしいところをみんなに知らせたい。 ・みんなが来たくなる永田にしたい。 ・みんなが仲の良い、楽しい永田が続くようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な活動になるように、3次で得た学びについてよく話し合い、検討させ、新たな疑問については調べさせる。 ・今の永田の魅力を大切にしつつ、自分たちができることを考えさせる。 ・伝える活動を通して地域のよさを再度実感することができるようにする。 	<p>(イ) ① (イ) ② (ウ) ①</p>